

テレメールを利用した 大学資料の請求をご指導ください。

テレメールは例年、受験生の約7割に利用されています。お届け先やテレメールのパスワードを一度ご登録いただくと、高校3年生の出願時期まで利用できるの、願書やネット出願資料を取り寄せるときも安心です。

テレメールの資料請求対象校 国公立大学・短大 **194校** / 私立大学・短大 **約650校** / 専門学校 **約1,350校**

POINT 1 簡単・便利な資料請求の環境を提供

初回 大学案内パンフなどの請求
テレメールで初めて資料を請求する際に、テレメールのパスワードを登録。

2回目以降 初回登録時のパスワードと郵便番号だけで請求可能
■大学案内パンフだけでなく、願書やネット出願資料、過去問題集など、さまざまな資料を請求できます。
■資料請求できる大学・専門学校の数が多いので、生徒全員の利用が可能です。

大学の公式サイトからでも請求できる!

願書やネット出願資料も請求できる!

学年が変わっても継続利用できる!



POINT 2 安心・確実な資料請求環境を提供

受付から発送までを一元管理

テレメールでは、大学案内パンフや願書、ネット出願資料などの資料を大学から事前にお預かりし、テレメールカスタマーセンターから直接、日本郵便に配達を依頼しています。

カスタマーセンターは年中無休で対応

資料の請求から到着まで安心してお待ちいただけるよう、テレメールカスタマーセンターは年中無休で有人対応するなど、徹底したサポート体制を敷いています。

入学願書やネット出願資料の請求も「テレメール」で

6月下旬に発行する「願書&ネット出願資料請求カタログ 出願スタート号」や、秋に発行する「願書&ネット出願資料請求カタログ」などのテレメール進学カタログ、テレメール進学サイト、大学の公式サイトなどでも、テレメールを使って総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜の願書やネット出願資料を請求できます。テレメールによる資料請求を、受験準備の一つとしてご活用ください。



全国大学案内カタログ



全国大学案内カタログ (国公立大学・私立大学編)



オープンキャンパスカレンダー付き 全国大学案内カタログ (国公立大学・私立大学編)

どこよりも早く 「新年度版パンフ」が 手に入るカタログです。

このカタログで資料請求できる学校数

国公立大学・短大 **194校**
私立大学・短大 **646校**
大学校 **32校**

大学情報を読みやすい分量で掲載

- 各大学の学部・学科情報やオープンキャンパス情報など、簡単な情報を掲載しています。
- 多くの大学情報を読んでから、資料を請求する大学を選択できます。



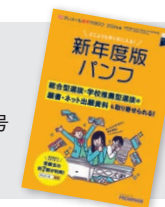
大学案内パンフ以外にもさまざまな資料が取り寄せられます

大学案内パンフだけでなく、学部・学科案内パンフも請求できます。また、全国大学案内カタログでは、総合型選抜・学校推薦型選抜の願書・ネット出願資料、国公立大学の入学者選抜要項も請求できます。



専門学校の案内パンフを請求できるカタログもあります。

「全国学校案内カタログ(国公立大学・専門学校編)」には、大学・短大の情報に加え、専門学校1,349校の資料請求番号を掲載しています。「全国学校案内カタログ」をご利用の場合にも本資料をご参照ください。



カタログを用いたご指導例 〈配付時にお伝えください〉

全学年共通

- 興味のある大学の大学案内パンフや学部・学科案内パンフは早めに取り寄せておこう。
- 大学選択や学部・学科選択のために、複数の大学案内パンフを読んで比較しよう。
- 学びの内容をより深く理解するため、発行されている大学であれば学部・学科案内パンフも読んでおこう。
- 保護者の方と一緒に大学案内パンフを見て、家庭でも進路や進学先の話しよう。



主に高校3年生

志望校を具体的に考える時期です。新年度版の大学案内パンフを取り寄せて、最新情報を確認するようご指導ください。

大学案内パンフを起点にして、大学研究を進め、受験への意識を高めていこう。

【まずやっておきたいこと】

- 志望校として検討している大学の大学案内パンフを取り寄せよう。
- これまで面談などで話題に上がった大学の大学案内パンフを取り寄せよう。
- 願書やネット出願資料を請求する際にもテレメールを利用します。受験準備も兼ねて、大学案内パンフをテレメールで請求しておこう。
- 今年のオープンキャンパスについて、昨年行けなかった大学や参加してみたい大学は大学案内パンフを読んだ上で参加を検討してみよう。
- テレメールは発送開始日前の資料でも予約受付ができるので、気になる大学の資料は早めに請求しておこう。



～総合型選抜・学校推薦型選抜を検討している生徒には～

新年度版大学案内パンフと、総合型選抜・学校推薦型選抜の願書・ネット出願資料は早めに取り寄せよう。

- 大学・学部ごとに異なる選抜方法を早めに確認しよう。
- エントリーシートや志望理由書の作成準備をしよう。
- 大学で何に取り組みたいのか、その大学でなければならぬ理由を明確にして、面接でアピールする内容を具体的に考えてみよう。
- 国公立大学志望者は、入学者選抜要項も取り寄せて、「求める生徒像」を確認しよう。



～国公立大学を志望している生徒には～

国公立大学の入学者選抜要項を取り寄せよう。

【入学者選抜要項とは】

大学入学共通テストや個別学力検査等の教科・科目、各試験の出願資格、選抜日程などを公表する冊子です。出願に必要な書類(願書など)は含まれていませんが、国公立大学を志望している生徒には、最新の入学者選抜に関する情報を確認するために入手させることをお勧めします。



新年度版の大学案内パンフが出揃うこの時期に、大学が伝えたいことをわかりやすく表現した大学案内パンフを取り寄せて、最新情報の収集や大学研究に取り組み、進学をイメージさせてください。テレメールはどこよりも早く新年度版の大学案内パンフを生徒の皆さまにお届けします。

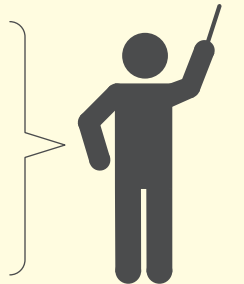
主に高校1年生・2年生

新年度版案内パンフが出揃うこの時期、効率よく情報収集をして有意義な大学研究を進めるようご指導ください。

理想の大学進学を実現するために、大学案内パンフを起点にして自分らしい大学研究を進めていこう。

大学案内パンフを見比べて大学ごとの学びの違いを知ろう。

- 「名前を知っている」「先輩が進学した」などのきっかけからでもよいので、複数大学の案内パンフを取り寄せて読み比べ、「面白そう」と感じる大学の研究内容を探してみよう。
- 大学案内パンフに掲載されているのは研究内容だけではなく、キャンパスの様子や学生へのサポート内容、社会との関わりなども掲載されているので、自分の学生生活や将来のイメージを膨らませるために多くの大学案内パンフを読んでみよう。



まずは気になる大学の案内パンフを取り寄せて読んでみることで「**大学ごとの学びの違いを知る**」「**オープンキャンパスに参加してみる**」「**大学の公式サイトをしてみる**」といった次のアクションに繋がっていきます。

「オープンキャンパスカレンダー付き 全国大学案内カタログ」をご利用の場合

オープンキャンパスに参加する前に活用しよう。

STEP 1 カタログ掲載のオープンキャンパスカレンダーで、いつ、どの大学に参加するか、スケジュールを考えよう。

6～8月のオープンキャンパス日程や開催方式などの情報を、大学ごとに一覧で掲載。自身で参加計画を考えることで、どの大学に興味があるのかなどを整理することができます。

STEP 2 オープンキャンパスに参加する大学の案内パンフを読み込み、「学部・学科の学び」「キャンパスの様子や雰囲気」「大学の施設や設備、環境」「資格や就職」など、確認したいことや知りたいことの優先順位を整理しておこう。

オープンキャンパスの参加にあたり、押さえておきたいポイントなどを掲載。事前に大学案内パンフを読み込み、学部・学科で学べる内容や大学の設備・環境を知っておくことで、オープンキャンパス時に得られる情報の理解度が深まります。

! 希望する大学のオープンキャンパスに必ず参加できるとは限りません。大学案内パンフとオープンキャンパスをうまく併用して、ベストな進路選択ができるように準備しましょう。